



平成30年3月1日現在	総世帯数	1,855世帯
総人口	4,734人	
男	2,304人	
女	2,430人	

神林地区球技大会

2月25日(日)、神林体育館にて町会対抗の球技大会を行いました。日頃の練習成果を試すべく、町会の名誉をかけたソフトバレーボールとラージボール卓球の2種目で熱戦が繰り広げられました。寒い天候にもかかわらず選手応援団約150人の参加がありました。選手の皆さんお疲れ様でした。

◆ラージボール卓球

優勝 下神町会
準優勝 川東町会
第3位 梶海渡町会

◆ソフトバレーボール

優勝 町神町会
準優勝 寺家町会
第3位 梶海渡町会



松本山雅FC 2018シーズン開幕

2月25日2018シーズン、J2リーグが開幕しました。開幕前は、反町監督の去就が注目されましたが、今シーズンも指揮を執ることが決定しました。若い選手と以前に増して攻撃的サッカーを目指したフォワードやディフェンス、そして新潟からゴールキーパーを獲得するなど期待出来るチーム構成となっています。

今シーズンの開幕カードは、昨年の開幕と同じ横浜FCで、サッカー界のレジェン



ド三浦知良選手や欧州から移籍の松井大輔選手が所属する注目のチームです。

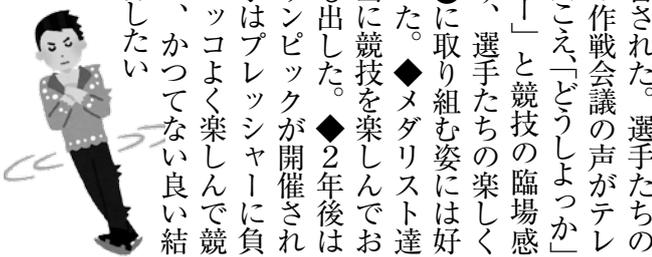
待ちに待った開幕を迎え午前3時に神林を発ち、圏央道を経由し、ニッパツ三ツ沢球技場に7時前に到着しました。すでに大勢の山雅サポーターが午後2時の試合開始に向け待機しており、試合が始まった時には観客の半数約5,000人が客席を緑で埋め尽くしました。試合は山雅ペースで始まり、惜しい場面もありましたが、横浜FCも攻撃の手を緩めずに攻め込んできました。しかし、新加入の引き分けでした。

これからの練習で連携を良くして、強い松本山雅FCになって優勝してほしいものです。

鎖川

ピョンチャン冬季オリンピックが閉幕した。◆予想を上回るメダルラッシュで、金4、銀5、銅4のメダル総数13個と輝かしい結果であった。◆

地元の小平奈緒選手は期待のなか、日本人の弱点とも言われているプレッシャーをはねのけてオリンピックレコードで金メダル。羽生結弦選手は右足首の故障を乗り越え、強靱な精神力でドラマでも作れないドラマチックな連覇の金メダルであった。◆女子カーリングは、銅メダルであったものの深夜の放送にもかかわらず注目された。選手たちの競技中の作戦会議の声がテレビから聞こえ、「どうしょっか」「そだねー」と競技の臨場感が伝わり、選手たちの楽しさにこやかに取り組む姿には好感をもった。◆メダリスト達は、本当に競技を楽しんでおり結果も出した。◆2年後は東京オリンピックが開催される。選手はプレッシャーに負けず、カッコよく楽しんで競技を行い、かつてない良い結果を期待したいものだ。





定例会は第 3 金曜日の午後

「生きがい仲間づくり」～
神林そば打ち同好会
まだ自慢は出来ませんが、寺家の昼神さんと塩原公民館長の指導の甲斐があつて、最近は多少「様」になつてきました。

打つたそばは、持ち帰り家族などで食べ喜ばれていきます。自分で打つたそばの味は、格別で一杯やりながら舌鼓を打つのが楽しみです。

昨年「神林ふれあい文化祭」には三百食のそばを用意し完売しました。現在の会員は 20 名です。

28 年度公民館『そば打ち講座』の受講生が「引き続き活動したい」と、昨年の 4 月に発足したサークルです。毎月一回の定例会では公民館の料理実習室で賑やかに「そば打ち」をしています。



2 月 20 日 (火)、神林公民館の料理実習室で寺家の上條栄 (前連合会長) さんの指導で「ジビエ料理教室」を開催しました。

上條さんが仕留めて下処理した鹿と猪の肉を使って、鹿の「ロースト」と「鹿カツ」を、イノシシは鍋に。

ローストは、熱湯と電気炊飯器の保温を使って簡単に出来ました。加熱する事で、野生のウイルス、寄生虫も死滅します。薄くスライスして出

来上がりです。鹿カツは塩胡椒を振り、ニンニクを入れたワインに漬け込み、30 分後にパン粉を付け弱火でじっくり揚げて出来上がり。更に、イノシシのばら肉と具材を鍋に入れて煮込み、アクを掬い取り、味噌で味を調べて出来上がりです。参加者全員でおいしくいただきました。

ジビエ料理教室

パネルシアターを開催

子ども会育成会と神林公民館は 3 月 4 日 (日)、「つばさ文庫」の皆さんによるパネルシアターを開催しました。

幼児と保護者が参加し、つばさ文庫のお姉さんたちが手作りしたかわいい動物のパネルを動かしてお話をしたり、一緒にひなまつりの歌を歌って楽しいひとときを過ごしました。また、大人と子どもが協力して福笑いを行い、出来上がった面白い顔に会場から笑いが起こっていました。



わがまち自慢 3・4

川西の阿弥陀如来

川西の南方に筒井阿弥陀堂がある。筒井家同姓で守っている御堂であり、松本で最大級の阿弥陀如来座像が安置されている。高さは 2 m を超える。江戸時代中期に作られたといわれるが作者は不明である。平成 10 年に建物を改築。月 3 回清掃していることから保存状態はたいへん良い。今後移転の経緯などの調査を行い、歴史を後世に残したいと思うだ。

今年 4 月第 2 日曜日 (今年 4 月 8 日) には、お花祭りが開かれる。甘茶がふるまわれ、阿弥陀如来をお参りすることが出来る。

今後地域之宝として保存されることを望みます。



阿弥陀如来坐像



筒井阿弥陀堂



仁科街道



高札場

高札場と仁科街道
町神公民館のやや北側にある高札場は、かつての仁科街道沿いにあり、松本藩の通達を村人に知らせるために、高札を掲げる建物であった。建築年代は不明であるが、天保 13 年 (1843 年) より、156 年前に建てられたらしい。松本市内では、和田堺村と当所しか残っていない貴重な建物だ。平成 21 年に「市特別史跡」に指定された。また、町神公民館南の延命地藏堂には、「十王像」がありこの地は、町神の入口に位置し邪気を入れないとして祀られていた。かつての街道の面影を残している場所でもある。

キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で 10 名に 500 円分の図書カードをプレゼント！締切は 4 月 27 日 (金)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております！

【前回の答え】

【今回のキーワード】

ハレソタイソ ○○き○○○○○